

修学旅行生157人が民泊 日高王国の農林漁家で【浦河・様似】

日高報知新聞

2011/10/26 18:24



日高報知新聞

1ヶ月購読料2,000円 (1部80円)

2011年(平成23年)10月26日(水曜日) 日刊



日高王国が 浦河、様似の農林漁家で 初の誘致

修学旅行生157人が民泊



発行所  
日高報知新聞社  
〒057-0034  
浦河町堺町西1丁目3-20  
TEL(代表) 0146-22-2411  
FAX 0146-22-2538  
編集部 0146-22-2411  
営業部 0146-22-2417  
静内支社 0146-42-1411  
門別支局 01456-3-2251

関西や首都圏の高校が「ホームやセミナーをめぐって日高王国の受入修学旅行生を誘致する」開催したほか、体験民泊「日高王国推進協議会」先進地の視察、モニター(会長・池田拓浦河町長)ツアーなどを実施して受け入れてくれる兵庫(学校を介して)道内入り後は「サンポート」を見学したほか、二十四日には空知川でラフティングを体験し、午後浦河町に到着。町勤労者体育センターで民泊先との対面式を行い、生徒三、四百人が浦河、様似の各種農家や肉牛・酪農家、野菜農家、林家、漁家に移動し、各家庭で一泊二食を体験した。

翌日は、早朝から各家庭の仕事を手伝いながら一泊二食。酪農馬場を訪れた班は、あいにくの雨天で予定していた作業ができなかったものの、酪農馬場建設の見学や新搾り牛を体験。浦河町伏の漁業、若槻喜代治さん(71)宅に宿泊した山田直人君(17)は「電気料は、慣れない環境での生活に「朝は三時半頃に目が覚めた」と話し、「リンを

若槻さんの作業小屋でコンブを束ねる作業を体験する工業高校生

午前十一時に町勤労者体育センターで解散式を行い、帰途につく。

関西や首都圏の高校が「ホームやセミナーをめぐって日高王国の受入修学旅行生を誘致する」開催したほか、体験民泊「日高王国推進協議会」先進地の視察、モニター(会長・池田拓浦河町長)ツアーなどを実施して受け入れてくれる兵庫(学校を介して)道内入り後は「サンポート」を見学したほか、二十四日には空知川でラフティングを体験し、午後浦河町に到着。町勤労者体育センターで民泊先との対面式を行い、生徒三、四百人が浦河、様似の各種農家や肉牛・酪農家、野菜農家、林家、漁家に移動し、各家庭で一泊二食を体験した。

翌日は、早朝から各家庭の仕事を手伝いながら一泊二食。酪農馬場を訪れた班は、あいにくの雨天で予定していた作業ができなかったものの、酪農馬場建設の見学や新搾り牛を体験。浦河町伏の漁業、若槻喜代治さん(71)宅に宿泊した山田直人君(17)は「電気料は、慣れない環境での生活に「朝は三時半頃に目が覚めた」と話し、「リンを

若槻さんの作業小屋でコンブを束ねる作業を体験する工業高校生

関西や首都圏の高校から修学旅行生の誘致を目指す「日高王国推進協議会」（会長・池田拓浦河町長）が初めて受け入れる兵庫県神戸市の神戸村野工業高校（桜井和雄校長）の2年生157人が24日、浦河町に到着し、浦河、様似両町の農林漁家に民泊して地域の産業などを体験している。

同協議会は平成21年12月に設立。構成する浦河、様似両町などでフォーラムやセミナーを開催したほか、体験民泊先進地の視察、モニターツアーなどを実施して受け入れ体制の整備を進めてきた。

1学年500人ほどがいる神戸村野工業高は当初、道内の長沼町と沖縄県、秋田県に分かれて修学旅行を計画していたが、東日本大震災の影響で移動手段が確保できず秋田県での修学旅行を中止し、長沼町の勧めもあって日高王国の受け入れが実現した。

生徒たちは23日に学校を出発し、道内入り後はノーザンホースパークを見学したほか、24日には空知川でラフティングを体験し、午後に浦河町に到着。浦河町勤労者体育センターで民泊先との対面式を行い、生徒3、4人ずつ浦河、様似両町の軽種馬農家や肉牛・酪農家、野菜農家、林家、漁家に移動し、各家庭で一緒に夕食づくりなどしてくつろいだ。

翌日は、早朝から各家庭の仕事を手伝いながら一緒に生活。軽種馬農家を訪れた班は、あいにくの雨天で予定していた作業ができなかったものの、軽種馬関連施設の見学や薪運びなどを体験。

浦河町荻伏の漁業、若槻喜代治さん（71）宅に宿泊した山田直人君（17）＝電気科＝は、慣れない環境での生活に「朝は3時半頃に目が覚めた」と話し、コンブを束ねる作業体験に「地道な作業で肩が凝りました」と大変さを実感した様子。指導にあっていた奥さんの若槻恵美子さん（65）は「仕事は色々あるけど、きつい大変な仕事もあるということを頭の隅に入れてもらえたら」と話していた。

一行は26日まで各受け入れ家庭で過ごし、午前11時に町勤労者体育センターで解散式を行って帰途についた。

# ようこそ！神戸の高校生

## 浦河・様似「日高王国」初の誘致

【浦河、様似】修学旅行生の農家や漁家への民泊事業を進める「日高王国推進協議会」が初めて受け入れる神戸市の高校生157人が24日、浦河町に到着し、宿泊する浦河、様似両町の52家庭と対面した。

(金子俊介)



対面式で握手を交わす受け入れ家庭と修学旅行生

日高王国は浦河、様似、つ、両町の軽種馬農家009年12月に設立。訪れたのは、男子校 戸、野菜農家8戸、林次産業への関心を高めるの私立神戸村野工業高 業家1戸、漁家15戸に

## 157人、民泊先の農漁家と対面

分かれて26日まで滞在する。

生徒たちは23日に上川管内占冠村に宿泊し、日高町の沙流川でラフティングを体験してから、浦河町に到着。

町勤労者体育センターで行われた各家庭との対面式では、互いに緊張しながらも握手などを交わした。生徒代表の片岡宗一郎さんが「大自然の中で貴重な経験をしたい」とあいさつ。その後、生徒たちは各家庭に移動し、一緒に調理した夕食を食べた。

浦河町の軽種馬農家の谷口貢さん(78)は「厩舎の掃除を体験してもらったり、競りの見学に連れて行く予定。子供たちがリラックスできるよう、孫が遊びに来たような気持ちで接したい」と話していた。

# 北海道新聞

北海道新聞社 2011 第2

2011年  
10月25日 四

発行所：北海道新聞社  
札幌市中央区大通西3丁目6  
〒060-8711 電話：011-221-2111  
www.hokkaido-np.co.jp

読者センター  
011-210-5888

ご購入申し込み  
0120-464-104  
キムヨ ドーシン